

## 輸 送 動 向 に つ い て ( 平 成 2 0 年 度 第 3 - 四 半 期 )

平成 2 1 年 1 月

### 1 . 輸 送 概 況

第 3-四半期は、10 月に名古屋臨海高速鉄道における旅客列車の脱線事故が発生したほか、12 月下旬には日本海縦貫線での強風及び札幌地区の大雪による輸送障害があり、高速貨 50 本、専貨 6 本が運休した。

荷動きについては、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融危機が円高や世界同時株安に波及し、国内経済を過去に例がないほど急速に悪化させたため、製造業の減産体制が拡大するなど、月を追うごとに悪化した。

品目別に見ると、コンテナ貨物は、家電・情報機器が前年を上回ったほかは、紙・パルプ、自動車部品、化学工業品など主要な品目が前年を大幅に下回り、前年比 93.2%となった。家電・情報機器は、メーカーのモーダルシフトの取組みが進展したため増送となった。一方、紙・パルプ、自動車部品、化学工業品は需要の低迷を受けた減産体制の拡大により、大きく減送となった。

車扱貨物は、石油、セメント・石灰石などすべての品目が前年を下回り、全体では前年比 82.6%となった。特に、石油は消費の減退及び価格の値下がりを見越した買い控えのほか、燃料転換の進展もあり、大きく減送となった。

### 2 . 輸 送 実 績

( 単 位 : 千 ト ン , % )

種 別 扱 別	3 - 四 半 期 計		
	本 年 実 績	前 年 実 績	前 年 比
コ ン テ ナ	5,887	6,319	93.2%
車 扱	2,947	3,569	82.6%

### 3 . 品 目 別 輸 送 実 績 表

( 単 位 : 千 ト ン , % )

扱 別	品 目	本 年 実 績	前 年 実 績	増 減	前 年 比
コ ン テ ナ	農 産 品 ・ 青 果 物	776	779	-3	99.6%
	化 学 工 業 品	525	591	-66	88.8%
	化 学 薬 品	401	441	-40	90.9%
	食 料 工 業 品	886	909	-23	97.5%
	紙 ・ パ ル プ	836	959	-123	87.2%
	他 工 業 品	437	481	-44	90.9%
	積 合 せ 貨 物	647	705	-58	91.8%
	自 動 車 部 品	206	234	-28	88.0%
	家 電 ・ 情 報 機 器	115	104	11	110.6%
	エ コ 関 連 物 資	93	94	-1	99.4%
	そ の 他	965	1,022	-57	94.4%
	コ ン テ ナ 計	5,886	6,319	-433	93.2%
車 扱	石 油	1,942	2,368	-426	82.0%
	セ メ ン ト ・ 石 灰 石	368	381	-13	96.7%
	車 両	335	401	-66	83.5%
	そ の 他	303	419	-116	72.4%
	車 扱 計	2,947	3,569	-622	82.6%

( 車 扱 の 品 目 別 輸 送 量 は 社 線 発 送 ト ン 数 も 含 む 数 値 、 本 年 は 速 報 値 、 前 年 は 確 報 値 )